

商店街内の空き店舗に設置した親子交流施設が商店街の賑わいを創出。
年間 6,000 人以上の親子が来館し、商店街に定着！

堺山之口連合商店街振興組合

機関名	堺山之口連合商店街振興組合		
所在地	大阪府堺市甲斐町東2丁目1-12		
電話番号	072-232-1728		
地域概要	(1)管内人口 831 千人	(2)管内商店街数 103 商店街	
事業の対象となる	(1)商店街数 1	(2)会員数 65 商店	
商店街の概要	(3)空店舗率 30.0%	(4)大型店空き店舗数 0	
商店街の類型	1. 超広域型商店街 2. 広域型商店街 3. 地域型商店街 4. 近隣型商店街		

【事業名と実施年度】

平成 16 年度 コミュニティ施設活用事業（親子交流施設）
・次世代育成、子育て支援
総事業費 3,000 千円

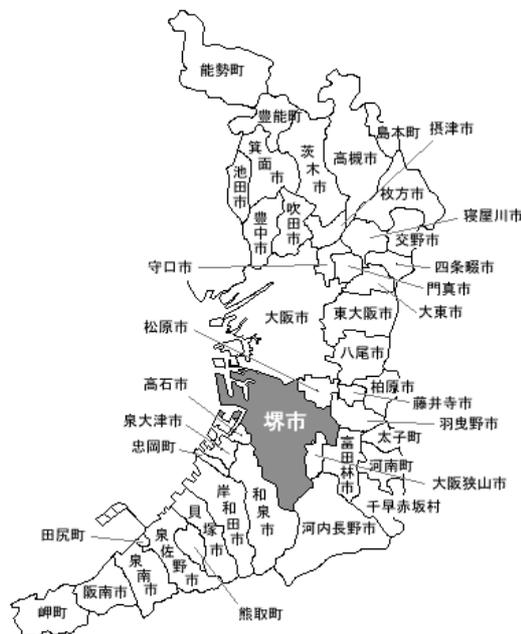
【事業実施内容】

1. 背景

堺市は大阪府の中央部の西南寄りにあり、大和川を隔てて大阪市の南側に位置している。市域は大和川の河口から東南方向に広がり、大阪湾に面した北西部の平坦地と東南部の丘陵地帯から構成されている。市域の北部、南海電鉄高野線堺東駅の西側約 30ha が中心市街地にあたる。

堺市は現在人口約 83 万人であり、平成 18 年 4 月 1 日より政令指定都市となる。関西圏においては、大阪、京都、神戸に次ぐ第 4 番目の政令指定都市であり、今後は、南大阪、ひいては関西圏全体の発展を力強く支える大都市としての役割が一層期待されている。

本事業を行った堺山之口商店街が位置する山之口地区では、居住人口の減少や商店主の高齢化によって商店街の衰退が進行している。このような状況下、平成 15 年度に商店街内の空き店舗を活用して子育て支援施設を開設した。初年度は、約 7 ヶ月で 3,000 人以上の利用があり一定の成果を残した。平成 16 年度も



堺市の位置図

(堺市指定都市推進協議会HPより)

引き続き、当事業を行うこととなった。

2. 事業内容

堺山之口商店街が商店街内の空き店舗に子育てサポートルームを開設した。子育てサポートルームは、堺市が子育て支援の一環として開設を推進しているものである。核家族化など社会環境の変化による、母親の子育てに関する情報へのニーズ等へ対応するため、子供を遊ばせながら、親同士の交流や子育ての悩みなどを話し合い相談できる機能をもつコミュニティ施設となっている。

(1) 施設概要

- ①名 称：堺まちかど子育てサポートルーム
「堺エンゼル広場」
- ②所 在 地：堺市大町東 1-2-17
(堺山之口連合商店街内)
- ③開設時間：月・火・水・金曜日
AM10:00～PM16:00
- ④対 象 者：就学前の児童及び保護者
- ⑤施設面積：56 m²
- ⑥利用料金：無料



堺山之口商店街の様子
(大阪府商店街振興組合連合会HPより)

(2) 運営体制

運営は、堺市がNPO法人青少年育成審議会 J S I に委託した。J S I 幼児部で専門教育を受けたボランティアスタッフが常駐し、子育て支援、育児の悩み相談、イベント等についても同NPO法人が行っている。

①NPO法人青少年育成審議会 J S I の概要

1) 活動内容等

- ・次世代育成・子育て支援
- ・青少年問題に関する教育支援
- ・安全・安心まちづくり支援
- ・災害時救援・防災教育支援
- ・各種講演・講師派遣
- ・各種ボランティア・地域力向上育成支援

2) 略歴

- ・1985年草の根グループ結成、2000年にNPO法人取得。



堺エンゼル広場内部の様子

(3) イベント

毎月、お母さん及び子供（赤ちゃん）を対象にしたスキルアップイベントを行った。

①ベビーサインイングリッシュ（4月：参加者 35名）

ベビーサインイングリッシュの講習会を行なった。ベビーサインイングリッシュ

は、赤ちゃんにアメリカ式手話を教えて手で意思表示ができるようにしてあげる育児法である。アメリカでは約 20 年の実績があり、現在は赤ちゃん 10 人に 1 人が実践しているといわれている。

- ②パネルシアター（5月：参加者 45 名 商店街との協賛イベント）
フェルトのボードにフェルトの人形を使った人形劇を行った。
 - ③トイレトレーニング、小学校までに関連した二次性徴（6月：参加者 61 名）
お母さんにはよくわからない男女別の育児法に違いがある事などについて説明した。
 - ④ペープサート～人形劇とのふれあい方～（7月：参加者 54 名）
ダンボールや紙で作った人形での人形劇などを行った。
 - ⑤夏の風邪予防対策（8月：参加者 55 名）
赤ちゃんの体内温度の温度調節についての説明などを行った。
 - ⑥バルーンアート（9月：参加者 171 名）
風船を使ったアートの作り方などを行った。
 - ⑦卒乳と栄養のポイント（10月：参加者 42 名）
 - ⑧バルーンアート（10月：参加者 41 名 商店街との協賛イベント）
 - ⑨子育て中の大掃除～ポイントとアドバイス～（11月：参加者 43 名）
洗剤別掃除法や化学雑巾の使い方などを説明した。
 - ⑩エンゼルハッピークリスマス（12月：参加者 117 名）
商店街の方にサンタクロース役をしてもらい、ボランティアにはトナカイ役やサンタガール役をもらい、大規模なクリスマス会を行った。
 - ⑪赤ちゃん連れ防災の心得（1月：参加者 27 名）
赤ちゃんがいるご家庭のための防災のテクニックについて説明した。
 - ⑫冬のお肌対策（2月：参加者 36 名）
ママと赤ちゃんのための乾燥肌対策。オイルの選び方や使用方法の説明を行った。
 - ⑬親子で楽しいひな祭り（3月：参加者 45 名）
ひな祭りは何のために行なうのか、なぜ雛人形を買うのか、段飾りの意味などひな祭りの伝統文化についての解説などを行った。
- (4) 施設利用者数

<利用者数>

	平成 15 年度 (15 年 9 月～16 年 3 月)	平成 16 年度 (16 年 4 月～17 年 3 月)
保護者利用者数	1,462 名	3,039 名
児童利用者数	1,592 名	2,974 名
利用者数合計	3,054 名	6,013 名



堺エンゼル広場のパンフレット（左：表紙 右：内容）

【 効 果 】

1. 商店街のイメージアップ

児童虐待が社会問題になるなど、子育てを取り巻く環境が大きく変化する中、堺山之口連合商店街振興組合では、堺市が推進する子育て支援事業を受け入れる形で商店街内空き店舗を活用して、当施設堺まちかど子育てサポートルーム「堺エンゼル広場」を開設し、支援を行っている。このことは空き店舗対策はもちろん、商店街のイメージ向上にもつながり、各方面から注目を集めている。

また、商店街が日常の買物の場だけでなく、地域コミュニティに貢献する拠点施設であるとの意識を新たにし、組合員から積極的にサポートルームとの連携活動に取り組む人材も現れている。

2. 賑わいの創出

当施設は商店街内にあるため、安全・安心・便利という観点から利用しやすい環境にあり、遠方からも多くの親子が訪れている。

また、商店街とサポートルームがそれぞれの行事開催時に、協賛イベントを開くなど、連携による相乗効果を図り、商店街の活性化と賑わいの創出に努めている。

【 課 題 ・ 反 省 点 】

1. PR

商店街が発行するイベント等の折込チラシには「堺エンゼル広場」の紹介を常に掲載しているが、利用者の更なる増加を図るためにも、堺市の広報誌等での継続的な掲載を希望するとともに、他の媒体を活用したPRにも努めていきたい。

2. 事業の合意形成

当初の期限の3年を終え、以後の実施に関して継続という結論を得たが、組合費を使う以上、「堺エンゼル広場」の利用が商店街の利用に結びつかなければならないと考える組合員が依然多く、理解を得ることに苦心した。

このことについては、組合員の意識改革を図る一方、折角の「広場」利用者を商店街の顧客として取り込むための積極的な仕掛けづくりや取り組みを今後一層進めていきたいと考えている。

【事業の実施ポイント】

商店街は地域に貢献する存在であるので、「堺エンゼル広場」は商店街に大いに寄与しているという意識を多くの組合員に持たせることにより、「広場」を支援するメンバーを増やし、商店街や地域の活性化のために連携を進めることが必要である。

【関連URL】

堺市HP子育て情報ルーム http://www.city.sakai.osaka.jp/city/info/_katei/

特定非営利活動法人青少年育成審議会 JSI http://www.asobo.co.jp/jsi/act_ko.htm